

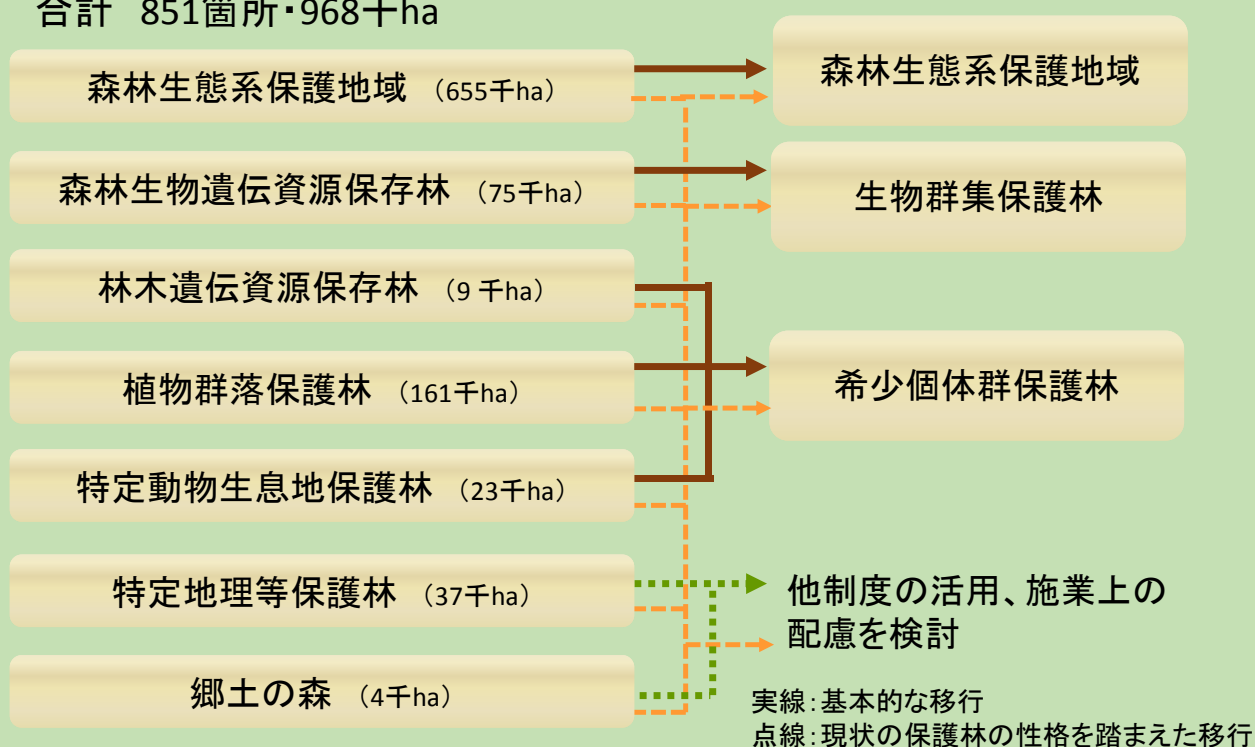
資料3

保護林区分の見直しに係るモニタリング調査等の中間報告

保護林制度の改正(管理体制の簡素・効率化)

保護林区分の再構築

合計 851箇所・968千ha



平成28年度 保護林区分の見直しに係る調査内容一覧

番号	保護林区分	保護林名	計画区	面積 (ha)	基礎調査			現地調査										備 考
					資料 調査	保護 林情 報図	概況 調査	既存 プロッ ト数	新設 プロッ ト数	森林調査			動物調査			シカ 食害 調査	全踏 調査	
									毎木 調査	植生 調査	定点写 真撮影	哺乳類 (自動 撮影) 調査	直接観 察ノ痕 跡調査	昆虫 調査				
1	植物群落保護林	千丈平ブナ植物群落保護林	加賀	856.88	○		○	2				○	○	○	○		生物群集保護林要件を満たすか	
2		上谷山ブナ・ミズナラ植物群落保護林	湖北	573.74	○			4				○	○	○	○		生物群集保護林要件を満たすか	
3		水ノ山・三の丸ブナ植物群落保護林	摂保川・円山川	384.75	○			6				○	○	○	○		生物群集保護林要件を満たすか	
4		三国山ブナ植物群落保護林	天神川・千代川	319.03	○			5				○	○	○	○		生物群集保護林要件を満たすか	
5	特定動物生息地保護林	宮島特定動物生息地保護林	太田川	1,065.93	○		○	3	○	○	○	○	○	○	○		生物群集保護林要件を満たすか	
6	特定地理等保護林	岩見山特定地理等保護林	高梁川上流	29.64	○		○	3	○	○	○	○	○	○	○		保護林要件を満たすか	
7	植物群落保護林	野鹿谷シャクナゲ植物群落保護林	若狭	4.00	○			2	○	○	○					○	隣接地の拡充検討	
8		大又文政スギ植物群落保護林	尾鷲熊野	1.50	○											○	林況確認	
9		四ヶノ仙奥山高地湿原等植物群落保護林	円山川	4.41	○											○	隣接する水ノ山・三の丸ブナ植物群落保護林との統合の可否について検討	
10		恵下谷山コウヤマキ植物群落保護林	太田川	1.49	○											○	林況確認	
11		鷹ノ巣山ブナ植物群落保護林	瀬戸内	4.04	○			2	○	○	○					○	隣接地の拡充検討	
12		滑山モミ植物群落保護林	山口	3.47	○											○	林況確認	
13		鳴川山ウラジロモミ・コメツガ植物群落保護林	北山・十津川	249.58	○											○	拡充の可否について検討	
合 計 （13箇所）				3,498.46				17	12									

※上記13箇所のほか、大杉谷森林生態系保護地域は面積要件を満たしていないため、見直しに係る対象としたが、現状の面積のまま森林生態系保護地域とする方向性で検討しているため調査箇所としていない。

平成28年度 保護林区分の見直しに係る調査の中間報告及び現段階での所見(要約)

番号1 千丈平ブナ植物群落保護林(856.88ha)……生物群集保護林への移行を検討

調査の目的	現地調査の状況(9月末時点)	現段階での所見
生物群集保護林の設定要件を満たすか否かの判断(設定要件の①を満たすのか)	◇ブナの大径木にコミネカエデ、ナナカマド、ヒメヤシャブシ等が混生。林床はチシマザサが優占。健全な状態が維持されている。 ◇ニホンジカ食害はほとんど確認されず。	◇地域を代表する原生的なブナ大径木を中心とする広葉樹林として当初保護林設定。 ◇健全な状態が維持され、地域固有の生物群集を有する森林の可能性が高い。



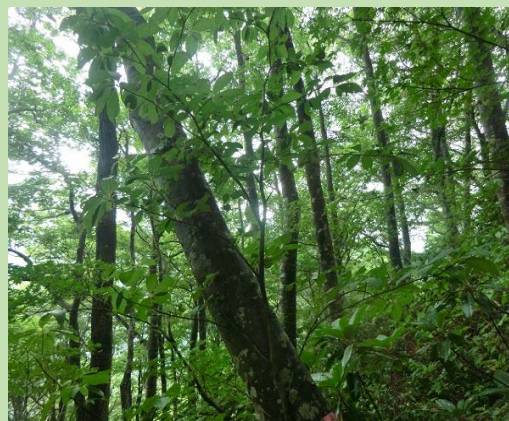
生物群集保護林の設定の考え方(設定の要件)

- ① 自然状態が十分保存された天然林を主体とした、地域固有の生物群集がまとまりを持って保存する区域であって、原則として300ha以上の規模を有するもの
- ② 自然状態が十分保存された天然林を中心に、地域固有の生物群集が存在し、今後、復元の取組が見込まれる森林の周辺部に包含する区域であって、原則として1,000ha以上の規模を有するもの

平成28年度 保護林区分の見直しに係る調査の中間報告及び現段階での所見(要約)

番号2 うえたにやま 上谷山ブナ・ミズナラ植物群落保護林(573.74ha)……生物群集保護林への移行を検討

調査の目的	現地調査の状況(9月末時点)	現段階での所見
生物群集保護林の設定要件を満たすか否かの判断(設定要件の①を満たすのか)	◇ブナ・ミズナラの群集において気象害や病虫害はほとんど確認されず。 ◇これらの樹種の下層植生も確認。 ◇ニホンジカの食害を一部で確認。	◇南限付近の日本海型ブナ林として当初保護林設定。 ◇健全な状態が維持され、地域固有の生物群集を有する森林の可能性が高い。



生物群集保護林の設定の考え方(設定の要件)

- ① 自然状態が十分保存された天然林を主体とした、地域固有の生物群集がまとまりを持って保存する区域であって、原則として300ha以上の規模を有するもの
- ② 自然状態が十分保存された天然林を中心に、地域固有の生物群集が存在し、今後、復元の取組が見込まれる森林の周辺部に包含する区域であって、原則として1,000ha以上の規模を有するもの

平成28年度 保護林区分の見直しに係る調査の中間報告及び現段階での所見(要約)

番号3 ひょうのせん 氷ノ山・三の丸ブナ植物群落保護林(384.75ha)……生物群集保護林への移行を検討

調査の目的	現地調査の状況(9月末時点)	現段階での所見
生物群集保護林の設定要件を満たすか否かの判断(設定要件の①を満たすのか)	◇ブナ・ミズナラの群集において気象害や病虫害はほとんど確認されず。 ◇これらの下層植生も確認。 ◇ニホンジカの食害を一部で確認。 ◇ブナの低木が確認されない箇所があり、オオバクロモジの衰退傾向が懸念される状況。	◇裏日本地帯における西限付近のブナ・オオバクロモジ群落の天然林として当初保護林設定。 ◇一部で植生の衰退が懸念されるが、地域固有の生物群集を有する森林の可能性が高い。



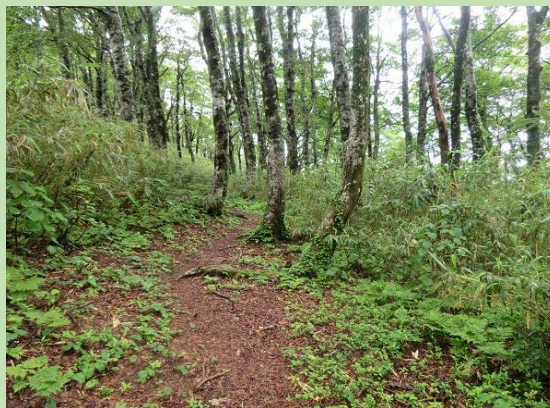
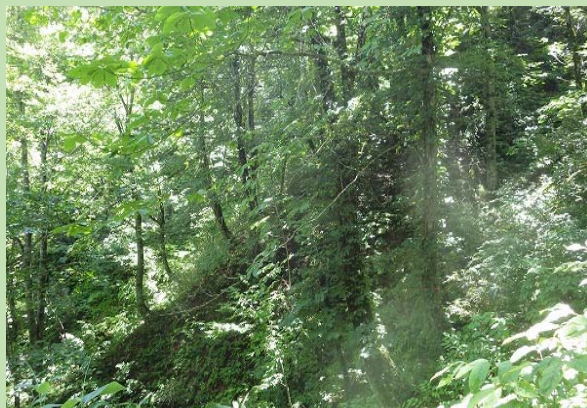
生物群集保護林の設定の考え方(設定の要件)

- ① 自然状態が十分保存された天然林を主体とした、地域固有の生物群集がまとまりを持って保存する区域であって、原則として300ha以上の規模を有するもの
- ② 自然状態が十分保存された天然林を中心に、地域固有の生物群集が存在し、今後、復元の取組が見込まれる森林の周辺部に包含する区域であって、原則として1,000ha以上の規模を有するもの

平成28年度 保護林区分の見直しに係る調査の中間報告及び現段階での所見(要約)

みくにやま
番号4 三国山ブナ植物群落保護林(319. 03ha)……生物群集保護林への移行を検討

調査の目的	現地調査の状況(9月末時点)	現段階での所見
生物群集保護林の設定要件を満たすか否かの判断(設定要件の①を満たすのか)	◇ブナ・ミズナラの群集において気象害や病虫害はほとんど確認されず。 ◇これらの樹種の下層植生も確認。 ◇ニホンジカの食害を一部で確認。	◇地域を代表する原生的なブナを中心とする広葉樹林として当初保護林設定。 ◇地域固有の生物群集を有する森林の可能性が高い。



生物群集保護林の設定の考え方(設定の要件)

- ① 自然状態が十分保存された天然林を主体とした、地域固有の生物群集がまとまりを持って保存する区域であって、原則として300ha以上の規模を有するもの
- ② 自然状態が十分保存された天然林を中心に、地域固有の生物群集が存在し、今後、復元の取組が見込まれる森林の周辺部に包含する区域であって、原則として1,000ha以上の規模を有するもの

平成28年度 保護林区分の見直しに係る調査の中間報告及び現段階での所見(要約)

番号5 宮島特定動物生息地保護林(1,065. 93ha)……生物群集保護林への移行を検討

調査の目的	現地調査の状況(9月末時点)	現段階での所見
生物群集保護林の設定要件を満たすか否かの判断(設定要件の①を満たすのか)	◇地域固有の生物群集は未確認。 ◇当初の保護林設定目的であるミヤジマトンボは目視で確認。	◇調査結果から生物群集保護林とすることは困難。 ◇ミヤジマトンボは環境省RLで絶滅危惧ⅠA類。 ◇希少個体群保護林への移行を検討。



生物群集保護林の設定の考え方(設定の要件)

- ① 自然状態が十分保存された天然林を主体とした、地域固有の生物群集がまとまりを持って保存する区域であって、原則として300ha以上の規模を有するもの
- ② 自然状態が十分保存された天然林を中心に、地域固有の生物群集が存在し、今後、復元の取組が見込まれる森林の周辺部に包含する区域であって、原則として1,000ha以上の規模を有するもの

平成28年度 保護林区分の見直しに係る調査の中間報告及び現段階での所見(要約)

番号6 いわみやま 岩見山特定地理等保護林(29.64ha)……希少個体群保護林への移行を検討

調査の目的	現地調査の状況(9月末時点)	現段階での所見
希少個体群保護林の設定要件を満たすか否かの判断。	◇希少種や希少個体群は未確認。	◇来年度まで調査・検討を継続。



希少個体群保護林の設定の考え方(設定の要件)

次のいずれかに該当する個体群を有し、原則として当該個体群がその存続に必要な条件を含む5ha以上の区域のうち、本保護林の目的から特に保護・管理を必要とするもの

- ①希少化している個体群 ②分布限界域等に位置する個体群 ③他の個体群から隔離された同種個体群 ④遺伝資源の保護を目的とする個体群 ⑤草地、湿地、高山帯、岩石地等特殊な立地条件の下に成立している個体群 ⑥温暖化等の影響により将来的に消失が懸念される個体群 ⑦その他保護が必要と認められる個体群

平成28年度 保護林区分の見直しに係る調査の中間報告及び現段階での所見(要約)

番号7 のかだに 野鹿谷シャクナゲ植物群落保護林(4.00ha)……区域拡大のうえ希少個体群保護林への移行を検討

調査の目的	現地調査の状況(9月末時点)	現段階での所見
面積要件(5ha以上)を満たしていないため、隣接地へ拡大を検討するため。	◇隣接地におけるシャクナゲは保護林の境界付近に僅かに確認。	◇拡大については慎重な検討が必要であり、新区分に移行する場合は、現面積のまま「⑦その他保護が必要と認められる個体群」への移行を検討。



227林班側(シャクナゲは見られない)



228林班側(保護林の境界付近に僅かに確認)

希少個体群保護林の設定の考え方(設定の要件)

次のいずれかに該当する個体群を有し、原則として当該個体群がその存続に必要な条件を含む5ha以上の区域のうち、本保護林の目的から特に保護・管理を必要とするもの

- ①希少化している個体群 ②分布限界域等に位置する個体群 ③他の個体群から隔離された同種個体群 ④遺伝資源の保護を目的とする個体群 ⑤草地、湿地、高山帯、岩石地等特殊な立地条件の下に成立している個体群 ⑥温暖化等の影響により将来的に消失が懸念される個体群 ⑦その他保護が必要と認められる個体群

平成28年度 保護林区分の見直しに係る調査の中間報告及び現段階での所見(要約)

おおまたぶんせい

番号8 大又文政スギ植物群落保護林(1. 50ha)……希少個体群保護林への移行を検討

調査の目的	現地調査の状況(9月末時点)	現段階での所見
面積要件(5ha以上)を満たしていないが拡大も不可能なため、健全な状態を維持しているのか確認。	◇文政スギは健全な状態を維持。	◇文政スギは貴重な江戸末期の人工林。 ◇「⑦その他保護が必要と認められる個体群」として希少個体群保護林への移行を検討。



希少個体群保護林の設定の考え方(設定の要件)

次のいずれかに該当する個体群を有し、原則として当該個体群がその存続に必要な条件を含む5ha以上の区域のうち、本保護林の目的から特に保護・管理を必要とするもの

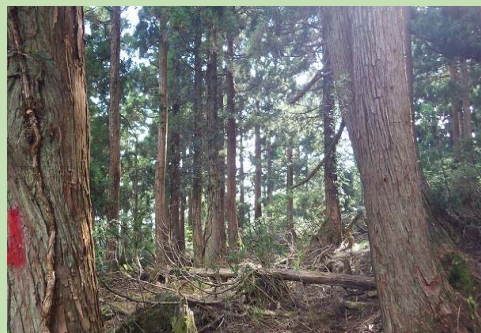
①希少化している個体群 ②分布限界域等に位置する個体群 ③他の個体群から隔離された同種個体群 ④遺伝資源の保護を目的とする個体群 ⑤草地、湿地、高山帯、岩石地等特殊な立地条件の下に成立している個体群 ⑥温暖化等の影響により将来的に消失が懸念される個体群 ⑦その他保護が必要と認められる個体群

平成28年度 保護林区分の見直しに係る調査の中間報告及び現段階での所見(要約)

しかのせん おくやま

番号9 四ヶノ仙奥山高地湿原等植物群落保護林(4. 41ha)……隣接する氷ノ山・三の丸ブナ植物群落保護林との統合を検討

調査の目的	現地調査の状況(9月末時点)	現段階での所見
面積要件(5ha以上)を満たしていないため、隣接する「氷ノ山・三の丸ブナ植物群落保護林」との統合の可否を検討。	◇境界付近や湿原を除き、天然スギを中心とした針葉樹林。	◇湿地性植物を含む植物群落として当初保護林設定。 ◇隣接するブナを主体とする保護林との統合は林分構成等の観点から検討が必要。 ◇なお、現面積のまま保護林として残す場合は「⑤草地、湿地、高山帯、岩石地等特殊な立地条件の下に成立している個体群」として希少個体群保護林への移行を検討。



希少個体群保護林の設定の考え方(設定の要件)

次のいずれかに該当する個体群を有し、原則として当該個体群がその存続に必要な条件を含む5ha以上の区域のうち、本保護林の目的から特に保護・管理を必要とするもの

①希少化している個体群 ②分布限界域等に位置する個体群 ③他の個体群から隔離された同種個体群 ④遺伝資源の保護を目的とする個体群 ⑤草地、湿地、高山帯、岩石地等特殊な立地条件の下に成立している個体群 ⑥温暖化等の影響により将来的に消失が懸念される個体群 ⑦その他保護が必要と認められる個体群

平成28年度 保護林区分の見直しに係る調査の中間報告及び現段階での所見(要約)

えげだにやま

番号10 恵下谷山コウヤマキ植物群落保護林(1.49ha)……希少個体群保護林への移行を検討

調査の目的	現地調査の状況(9月末時点)	現段階での所見
面積要件(5ha以上)を満たしていないが、学術的価値のあるコウヤマキ人工林が健全な状態にあるのか判断するため林況確認を実施。	◇コウヤマキのほか、ヒノキ、スギの大径木が林冠を形成。 ◇獣害や病虫害、地表攪乱もなく、健全に生育。 ◇数少ないコウヤマキが健全に生育している人工林。	◇学術的価値が高く、「⑦その他保護が必要と認められる個体群」として希少個体群保護林への移行検討。



希少個体群保護林の設定の考え方(設定の要件)

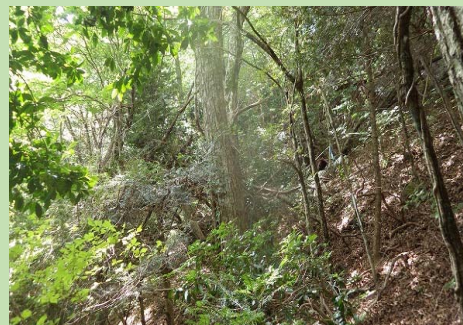
次のいずれかに該当する個体群を有し、原則として当該個体群がその存続に必要な条件を含む5ha以上の区域のうち、本保護林の目的から特に保護・管理を必要とするもの

①希少化している個体群 ②分布限界域等に位置する個体群 ③他の個体群から隔離された同種個体群 ④遺伝資源の保護を目的とする個体群 ⑤草地、湿地、高山帯、岩石地等特殊な立地条件の下に成立している個体群 ⑥温暖化等の影響により将来的に消失が懸念される個体群 ⑦その他保護が必要と認められる個体群

平成28年度 保護林区分の見直しに係る調査の中間報告及び現段階での所見(要約)

番号11 鷹ノ巣山ブナ植物群落保護林(4.04ha)……区域拡大のうえ希少個体群保護林への移行を検討

調査の目的	現地調査の状況(9月末時点)	現段階での所見
面積要件(5ha以上)を満たしていないため区域拡大を検討。	◇隣接する林分はブナ及びモミの大径木とウリハダカエデ、イヌシデ等が混生。林床にはアセビ、コアジサイ、ウリハダカエデ、モミ等が生育。 ◇隣接する林分は保護林と類似する内容を有している。	◇隣接林分が保護林と類似する林分。 ◇拡大のうえ、「⑦その他保護が必要と認められる個体群」として希少個体群保護林への移行を検討。 ◇面積は5.23haへ。



希少個体群保護林の設定の考え方(設定の要件)

次のいずれかに該当する個体群を有し、原則として当該個体群がその存続に必要な条件を含む5ha以上の区域のうち、本保護林の目的から特に保護・管理を必要とするもの

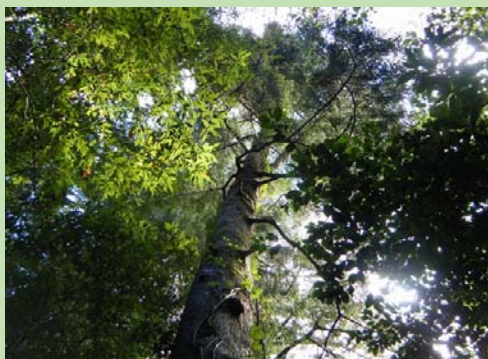
①希少化している個体群 ②分布限界域等に位置する個体群 ③他の個体群から隔離された同種個体群 ④遺伝資源の保護を目的とする個体群 ⑤草地、湿地、高山帯、岩石地等特殊な立地条件の下に成立している個体群 ⑥温暖化等の影響により将来的に消失が懸念される個体群 ⑦その他保護が必要と認められる個体群

平成28年度 保護林区分の見直しに係る調査の中間報告及び現段階での所見(要約)

なめらやま

番号12 滑山モミ植物群落保護林(3.47ha)……希少個体群保護林への移行を検討

調査の目的	現地調査の状況(9月末時点)	現段階での所見
面積要件(5ha以上)を満たしておらず、拡大の余地がないので、林況を確認し、現況での存続を検討。	◇過去の調査と大きな変化はなく、モミの巨木が点在。下層にもモミが確認。	◇江戸後期に毛利藩が植栽した人工林。 ◇歴史的、学術的価値が高く、「⑦その他保護が必要と認められる個体群」として希少個体群保護林への移行を検討。



希少個体群保護林の設定の考え方(設定の要件)

次のいずれかに該当する個体群を有し、原則として当該個体群がその存続に必要な条件を含む5ha以上の区域のうち、本保護林の目的から特に保護・管理を必要とするもの

- ①希少化している個体群 ②分布限界域等に位置する個体群 ③他の個体群から隔離された同種個体群 ④遺伝資源の保護を目的とする個体群 ⑤草地、湿地、高山帯、岩石地等特殊な立地条件の下に成立している個体群 ⑥温暖化等の影響により将来的に消失が懸念される個体群 ⑦その他保護が必要と認められる個体群

平成28年度 保護林区分の見直しに係る調査の中間報告及び現段階での所見(要約)

なるかわやま

番号13 鳴川山ウラジロモミ・コメツガ植物群落保護林(249.58ha)……区域拡大のうえ生物群集保護林への移行を検討

調査の目的	現地調査の状況(9月末時点)	現段階での所見
隣接林分への拡大により生物群集保護林の面積要件(300ha)を満たすのか検討。	◇隣接する4箇所の林小班で既存の保護林と類似する植物群集を確認。	◇隣接する林小班まで保護林を拡大。 ◇生物群集保護林への移行を検討。 ◇面積は345.87haへ。



拡大予定箇所[滝の左の上下(75と)・滝下(75り)] 右の谷(74い)は保護林



拡大予定箇所(73い)

生物群集保護林の設定の考え方(設定の要件)

- ① 自然状態が十分保存された天然林を主体とした、地域固有の生物群集がまとまりを持って保存する区域であって、原則として300ha以上の規模を有するもの
② 自然状態が十分保存された天然林を中心に、地域固有の生物群集が存在し、今後、復元の取組が見込まれる森林の周辺部に包含する区域であって、原則として1,000ha以上の規模を有するもの